授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2023 年度

学校名	国際ペット専門学校福井
学科名	ペット総合学科

○印：実務経験のある教員

単位時間

区分		科目名	教員名	実務経験の有無	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	合計
授業科目及び授業時間数表	専門科目	グルーミング実習	勝嶌　圭史	○	240	300			540
		グルーミング理論Ⅰ	冨永　梨恵	○	30	30			60
		家庭動物管理学	小西　伴彦	○	30				30
		ペットケアアドバイザー	原田　冬華	○	60				60
		犬のしつけ学Ⅰ	小西　伴彦	○	30				30
		犬のしつけ学Ⅱ	小西　伴彦	○	30				30
		犬学	勝嶌　圭史	○	60				60
		販売学	勝嶌　圭史	○		30			30
		学生サロンオペレーション	勝嶌　圭史	○		30			30
		キャットマイスターⅠ	冨永　梨恵	○		30			30
		しつけ実習	小西　伴彦	○		60			60
	小　計（単位時間）		ペット総合コース		480	480			960
	専門科目	トリミング実習	勝嶌　圭史	○			480	480	960
		グルーミング理論Ⅱ(ペット総合コース)	冨永　梨恵	○			30	30	60
		キャットマイスターⅡ	冨永　梨恵	○			30		30
		動物診療助手	原田　冬華	○			30		30
		トリマー看護学	原田　冬華	○				30	30
		ドッグエステ学	冨永　梨恵	○				30	30
		イオンペット基礎学(イオンペット社員養成コース)	加瀬　隼人	○			30		30
		イオンロールプレイング(イオンペット社員養成コース	加瀬　隼人	○			30	30	60
	小　計（単位時間）		ペット総合コース				570	570	1140
			イオンペット社員養成コース				600	570	1170
合　計（単位時間）			ペット総合コース		480	480	570	570	2100
			イオンペット社員養成コース		480	480	600	570	2130
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）			ペット総合コース		480	480	570	570	2100
			イオンペット社員養成コース		480	480	600	570	2130

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング実習		ペット総合学科／1年生	2023／通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	270回	540単位時間	必須	勝嶌　圭史

授　業　の　概　要

・日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得
・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける
・習得したグルーミングの作業を反復練習をことにより確実に仕上げることができ、さらに時間短縮を意識しながら授業をすすめていく
・ペットカットを習得するためにクリッパーの使い方やシザーの使い方など学ぶ
・保定など看護師として必要な技術の練習を行う

授業終了時の到達目標

・日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得
・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける
・時間の意識、犬の扱い方を学ぶことにより、犬に負担をかけないグルーミングの習得
・グルーミングを完璧に行い、部分カットやクリッパー、シザーを使用してのペットカットの習得

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンを経営

時間外に必要な学修

自宅でのシザーリング練習

回	テ　ー　マ	内　　容
1週	道具の配布、道具確認、道具説明	初めてなので、道具一式のセット内容の確認と各道具の使い方を知る ハサミの持ち方、動かし方の説明を行い、シザーリングを理解する
2週	実習室の使い方、基本的な犬の扱い方（保定方法）、爪切り、耳掃除	実習室の使い方や掃除の行い方、リードの使い方の説明 人形を使っての犬の保定の行い方、パスタを使用しての爪切りの行い方、カンシ（耳掃除に使用）の使い方を知る
3週	シャンプーの種類とゲージからの犬の出し入れの注意点	実際に犬を使っての犬舎への出し入れの練習、シャンプーの使い分けの説明 時間が余れば保定練習を実施する
4週	ウィッグを使用したブラッシング、コーミング、シザーリング練習	ウィッグを使用してブラッシング、コーミングの練習（手の動かし方、道具の持ち方など） シザーリング練習も実施する
5週	ウィッグを使用したブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライング、シザーリング練習	ウィッグを使用してブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライングの練習（反復練習）シザーリング練習も実施する
6週	ウィッグを使っての振り返り練習	2組に分け、1組はドライングまでの試験、残りは反復練習を実施する（試験は時間は決めずに作業がきちんと行われているかを判断基準とする）
7週	実際にモデル犬を使っての爪切り、耳掃除、ブラッシング、シャンピング、ドライング	実際にモデル犬を使っての総合演習を行う（犬を扱うのは初めてなので時間は決めずに作業を行っていく）
8週	ウィッグを使っての肢周りのカットの説明及びその実践	ウィッグを使って講師が肢周りカットの説明を行い、その後講師が実演を行い、それを基に学生が実践する
9週	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う①	トリマー3級ライセンスに向けて90分という時間を意識しながらのグルーミング作業（自分がどの位全作業に時間をかけているのかを自覚する）
10週	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う②	先週の改善点を踏まえてどうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、120分以内を目標とさせる

回	テ　ー　マ	内　　容
11週	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う③	先週の改善点をさらに踏み込んで、どうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、100分以内を目標とさせる
12週	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う④	３回の実習を踏まえて、最終的なまとめとして作業をどう行えば時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、90分以内を目標とさせる
13週	ライセンス担当犬を使っての模擬試験	2グループに分け、1組はグルーミング実習を行い、残りのグループが90分以内での作業終了を目指す 別日にもうひとグループが同様に模擬試験を実施する
14週	模擬試験の振り返り、体バリカン	模擬試験の結果を踏まえて各自の反省点を洗いだし、合格を目指し実習を実施する 全身カットの最初の段階である体バリカンを始めていく
15週	時間短縮を意識したグルーミング 体バリカン シザーリング練習	模擬試験での反省点を各自自覚できたはずなので、それを踏まえて時間短縮を意識してグルーミングを実施する 体バリカンのラインを左右対称を意識 余裕のある学生はシザーリング練習
16週	最終模擬試験による各自の課題克服を踏まえたグルーミング実習 体バリカン、肢カット（バリカンラインぼかし）、部分カット	模擬試験で時間内に終わらなかった学生や作業に対して課題がある学生は、それを直すことを意識する 肢のバリカンラインのぼかし作業 グルーミング犬種の部分カット
17～18週	時間短縮を意識したグルーミング 体バリカン、肢カット、グルーミング犬種の部分カット	トリマー3級合格を目指して作業時間の短縮（目標は90分以内に肢周りカット終了） 肢の形を四角柱で作る グルーミング犬種の部分カット
19週	時間短縮を目的としたグルーミング 肢カット、グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	昼休憩までに下準備を終わらせる 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良い。自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット（90分以内）
20週	肢カット グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	他の学生は昼休憩までに下準備を終わらせる 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良いので自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット(90分以内)
21週	肢カット①、グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	肢カットを1本終わらせる（60分以内） グルーミング犬種の部分カット 余裕のある学生はシザーリング練習も行う
22週	肢カット②（2本） シザーリング練習	肢カットを2本終わらせる（120分以内） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
23週	肢カット（2本）、胸のカット①	肢カットを2本終わらせ（120分以内）、胸のカット（前肢に繋げる） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
24週	肢カット（2本）、胸のカット②	肢カットを2本終わらせ（120分以内）、胸のカット（前肢に繋げる）※角が残らないよう意識する グルーミング犬種の部分カット（60分以内）
25週	顔カットの手順、グルーミング犬種の部分カット	2年生が顔カットしながら、手順を教えてもらう グルーミング犬種の部分カット（50分以内）
26週	顔カット（半分）	2年生に半分顔カットしてもらい、残り半分をカットする グルーミング犬種の部分カット（50分以内）
27週	顔カット（全て）	顔カットを1年生だけで行う グルーミング犬種の部分カット（40分以内）
28～30週	全身カット、顔カット、グルーミング犬種の部分カット	体バリカンを含め全身のカットを行う（肢は前後肢1本ずつ） グルーミング犬種の部分カット（40分以内）

回	テ　ー　マ	内　　容		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
疑似毛（ウィッグ） ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ）		期末試験	100.0%	

＊前期：１週８回（16単位時間）、後期：1週10回（20単位時間）

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング理論Ⅰ		ペット総合学科／1年生	2023／通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	冨永　梨恵

授　業　の　概　要

・犬の扱い方を理解し、各道具の使用方法・注意点を把握することで、グルーミング実習時に安全でスムーズな作業が出来るようになる
・グルーミングの目的・各作業の目的を学び、その必要性を理解する
・グルーミング作業時に起こりやすい事故について理解し、応急処置の方法を身につける

授業終了時の到達目標

・グルーミング、トリミングとは何かを理解する
・グルーミング、トリミング時に使用する道具の種類、使用方法、注意点、犬の扱い方を理解する
・プードル、シーズー、マルチーズ、ポメラニアン等、スタンダードを理解した上で、各犬種のトリミング技法、カット手順を体得する

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンでトリマーとして勤務

時間外に必要な学修

授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	グルーミング理論Ⅰについての説明 グルーミングとは何か	授業内容、取得を目指すライセンスについて解説する グルーミングの目的、意義、心構え、必要性を学ぶ
2	犬体各部の名称について	犬体名称、骨格、咬み合わせを理解する
3	健康の確認 （バイタルサインについて） 骨格・犬体名称・咬合小テスト	健康な犬の状態を把握する そのために、バイタルサインの測定方法、平均値を理解する トリミングに必要な各部名称なので、復習テストを実施
4	グルーミングについて①	爪切り・耳掃除・ブラッシング・コーミングについて、各作業の目的・道具の使い方・注意点などを理解する
5	グルーミングについて②	クリッピング（足裏・肛門・お腹）の目的・クリッパーの使い方・注意点を理解する ハサミの各部名称と種類を学ぶ
6	グルーミングについて③	ベイジング（肛門腺含む）の目的・注意点を学ぶ シャンピングについて、目的・手順・注意点を学ぶ
7	グルーミングについて④	リンシング・タウェリングについて、目的・手順・注意点を学ぶ
8	グルーミングについて⑤	ドライングについて、目的・手順・注意点を学ぶ 足回りカットの手順と犬種別・カットスタイル別の作り方を学ぶ
9	グルーミング作業に関する復習テスト	爪切り～足回りカットまでの一連の作業について、その目的や注意点などの復習テストの実施
10	グルーミング中に 起こりやすい事故①	クリッパー、ハサミ、鉗子、耳の保定による事故、やけど（低温やけど含む）がどのような場合に起こりやすいのか、またその応急処置を学ぶ
11	グルーミング中に 起こりやすい事故②	脱臼、骨折、下顎骨折、熱中症について、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ

12	グルーミング中に 起こりやすい事故③	眼球脱臼、眼球の傷、結膜炎、けいれんについて、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ
13	グルーミング中に 起こりやすい事故④	呼吸困難、意識不明、ショック状態はどのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ
14	NAVAトリマー３級ライセンス 筆記試験対策①	筆記試験対策プリントの実施（基礎編）と解説
15	NAVAトリマー３級ライセンス 筆記試験対策②	筆記試験対策プリントの実施（応用編）と解説
16	犬体用語 美容用語	被毛に関する用語、グルーミングに関する用語を覚える
17	プードルについて① （スタンダードの理解）	沿革、毛色、サイズバラエティなどの基本を理解し、プードルという犬種を知る
18	プードルについて② （各クリップ名・理想体形）	ショー・クリップ名、公認ペット・クリップ名とカットの特徴を学ぶ 理想体形とともに、ハイオン・ドワーフについても理解する
19	トリマーの基本	トリマーの心得、グルーミングにおける犬の扱い方を理解し、グルーミングに関する基礎事項を学ぶ
20	各トリミング技法とその技法にあてはまる犬種について	グルーミング犬種について解説する トリミング技法（シザーリング・スイニング・プラッキング）を理解し、その技法にあてはまる犬種を知る
21	ケネル＆ラム・クリップ①	プードルのベーシックなペット・クリップであるケネル＆ラム・クリップのトリミング手順を理解する どのようなクリップなのかを知るために、アウトラインを描く 各クリッピング基準を理解する（肢・顔・尾）
22	ケネル＆ラム・クリップ②	フットライン・テールセット・背線・後躯のトリミング手順について理解する
23	ケネル＆ラム・クリップ③	中躯・アンダーライン・肩・胸・前肢のトリミング手順について理解する
24	ケネル＆ラム・クリップ④	頭部・耳・尾のトリミング基準について理解する ケネル＆ラム・クリップのアウトラインを描く
25	シーズー、マルチーズの サマーカット①	サマーカットとはなにか ボディをクリッパーで仕上げるスタイルの基準を学ぶ
26	シーズー、マルチーズの サマーカット②	ボディ、顔カットの方法を学ぶ
27	ポメラニアン①	グルーミングを施す際の注意点、ポメラニアンのスタンダードなトリミングを理解する
28	ポメラニアン②	トリミングのバリエーションを知る（柴カットなど） サマーカットによる弊害について理解する
29	テディ・ベアカット①	ボディ、四肢のトリミング手順を学ぶ
30	テディ・ベアカット②	顔・マズルの作り方を学ぶ

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ） グルーミングの基礎（インターズー）	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家庭動物管理学		ペット総合学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西　伴彦

授　業　の　概　要
ペットショップで働くために必要な動物に関連している法規や健康管理などのケアについての専門的な知識や職業倫理、ペットを扱う専門家として必要な知識、社会における動物を取り扱う者の責任と役割を理解する
授業終了時の到達目標
動物取扱業者として社会背景の変化に柔軟に対応し、ペットが果たす役割の重要性を理解し、飼養者とペットとのよりよい関係づくりに尽力できる人材として、人と動物の共生社会実現に資するための知識として、動物の管理や関連する様々な法規を理解し、法規ごとに対応する業務や行為の範囲を理解している

実務経験有無	実務経験内容
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事

時間外に必要な学修
テキストの読み込み、講義でのノートの復習

回	テ　ー　マ	内　　容
1	法規についての総論と概要	法規の概念を理解を進め、法規全般の学修のポイントを知る 政令と省令、条例と規則
2	動物取扱業者の職業倫理	動物取扱者として必要な職業倫理の内容を理解し学修する
3	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の全体像と飼い主責任の内容について理解を進め学修する
4	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の動物取扱業の内容について理解を進め学修する
5	トラブル予防に関する基礎知識	顧客とのトラブル予防や対処法について学び、法律との関連性を重要視しながら対応する方法を学修する
6	動物に関する基礎知識	犬の特性、猫の特性について学び、適切な飼養方法、管理方法について学修する
7	動物行動学の基礎	動物の行動の専門的な知識の習得とその行動特性について学修する
8	適切な展示方法と衛生管理、血統書について	動物の展示方法とその衛生管理全般についての専門的な知識の習得と犬の血統書について学修する
9	狂犬病予防法、家畜伝染病予防法	狂犬病予防法と家畜伝染病予防法の内容全体の理解を進め学修する
１０	ペットフード安全法、飼料安全法、水産資源保護法	ペットフード安全法、飼料の安全性の確保および品質の改善に関する法律の理解し学修する

回	テ　ー　マ	内　　容
１１	感染症法、と畜場法、食鳥検査法、食品衛生法	感染症法とその法律に関係する法規の内容全体を理解し学修する
１２	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法、	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法に関連する法規全体を理解し学修する
１３	国際条約（ワシントン条約、ラムサール条約）、廃棄物処理法	動物に関連する国際条約の概要を理解し学修する（ワシントン条約、ラムサール条約についての概要）
１４	家庭動物管理士概要	家庭動物管理士としての職業倫理、専門家としての意識を高める必要な知識を学修する
１５	家庭動物管理士総論	家庭動物管理士としての役割とペットショップの在り方について議論を交えながら、専門的な知識を学修する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
家庭動物管理士テキスト3級用（一般社団法人全国ペット協会） 動物看護の教科書第1巻（緑書房） 人と動物の関係1（ファームプレス）	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットケアアドバイザー		ペット総合学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	原田　冬華

授　業　の　概　要

・動物の健康管理に必要な知識や技術（体のつくりや各疾患の知識、正しい飼育方法など）を実際の流れに沿って紹介し、実践的な内容も解説しながら学修する
・ペットショップの販売の仕事内容や売り場管理の仕方を教科書の内容を検証する演習なども取り入れながら習得する

授業終了時の到達目標

・動物の健康管理についての正しい知識が身につき、飼い主に的確な指導やアドバイスができるようになる
・ペットショップにおける売り場管理の重要要素を説明することができる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院で動物看護師として勤務

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する

回	テ　ー　マ	学修内容
1	動物の体のしくみと主な病気 骨	骨の働きや構造、骨格、代表的な病気について理解する
2	動物の体のしくみと主な病気 感覚器（耳・眼）	耳の構造、音が聞こえる仕組み、体のバランスを取る仕組み、眼球の構造、代表的な病気について理解する
3	動物の体のしくみと主な病気 循環器（心臓・血管）	循環器の働き、心臓の構造、代表的な病気について理解する
4	動物の体のしくみと主な病気 呼吸器（咽喉頭・気管・肺）	呼吸の仕組み、代表的な呼吸器の病気について理解する
5	動物の体のしくみと主な病気 消化器（胃腸）	消化器の働き、消化管の運動、代表的な病気について理解する
6	動物の体のしくみと主な病気 膵臓・肝臓	膵臓と肝臓の構造、膵液・胆汁とその働き、代表的な病気について理解する
7	動物の体のしくみと主な病気 泌尿器（腎臓・膀胱）	泌尿器の構造、代表的な病気について理解する
8	動物の体のしくみと主な病気 ホルモン・リンパ・免疫	内分泌の器官、ホルモンの調節、リンパ・白血球など免疫、代表的な病気について理解する
9	動物の体のしくみと主な病気 脳・脊髄・神経	神経の働きや分類、脳・脊髄・末梢神経の仕組み、代表的な病気について理解する
10	動物の体のしくみと主な病気 生殖器	生殖器の構造、代表的な病気について理解する
11	動物の健康管理 バイタルサインと体重測定	バイタルサインの平均と評価方法を理解する 体重測定の意義と方法を理解する
12	動物の健康管理 応急処置	応急処置の意味と手順を理解する
13	動物の飼養管理 繁殖①	繁殖とは何か、血統書とは何かを学修する
14	動物の飼養管理 繁殖②	犬の発情生理、交配の手順や実際、妊娠と出産時の注意事項を理解する

15	動物の飼養管理 繁殖③	猫の繁殖整理、交配の手順、妊娠と出産時の注意事項を理解する
16	動物の飼養管理 遺伝	遺伝様式、遺伝性疾患とその発生の多い犬種・猫種を理解する
17	動物の飼養管理 子犬・子猫の飼育と繁殖	子犬・子猫の誕生から離乳までの飼養管理、子犬・子猫に多い病気について学修し理解する
18	動物の衛生管理 日常の健康管理①	口腔衛生の必要性、方法について理解する
19	動物の衛生管理 日常の健康管理②	ワクチンで予防できる疾患、ワクチンプログラムについて理解する
20	動物の衛生管理 感染症とその予防①	ズーノーシスなどの感染症（ウイルス感染症）とその予防について理解する
21	動物の衛生管理 感染症とその予防②	ズーノーシスなどの感染症（内部寄生虫）とその予防について理解する
22	動物の衛生管理 感染症とその予防③	ズーノーシスなどの感染症（外部寄生虫）とその予防について理解する
23	動物の衛生管理 感染症とその予防④	滅菌法と消毒法、院内感染とペットショップ内感染について理解する
24	動物の食事管理 食事の管理①	エネルギー、水、糖質の体内での役割や必要量を理解する
25	動物の食事管理 食事の管理②	脂質、タンパク質の体内での役割や必要量を理解する
26	動物の食事管理 食事の管理③	ビタミン、ミネラルの種類や体内での役割を理解する
27	動物の食事管理 食事の管理④	ライフステージに応じた食事管理方法や食欲を増進させる工夫について学修する
28	動物の食事管理 食事の管理⑤	自家製フードと市販フードのそれぞれの注意点や、与えてはいけない食品を理解する
29	動物の食事管理 食事の管理⑥	肥満の定義や評価方法、解消方法を理解する 特別療法食とは何かを学修する
30	ペットショップの販売に関する基礎知識	ペットの販売の仕事とその流れやペットショップの売り場づくり、商品別の販売ポイントを理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
NAVA動物看護の基礎 改訂版　インターズー	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬のしつけ学Ⅰ		ペット総合学科／１年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西　伴彦

授　業　の　概　要

動物行動学の分野において犬猫の行動様式の基礎知識（例：維持行動、性行動、社会的問題行動）をテキストに沿って学習し、習得する

授業終了時の到達目標

犬や猫の行動様式を学ぶことで人との共存生活を送る際の問題となる行動の原因や対処方法、予防方法の基礎知識となる

実務経験有無	実務経験内容
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容のノートを使用して復習すること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動物行動学の基礎	行動学の歴史と動物の家畜化について理解する 犬猫の周期性を理解する
2	動物行動の基礎（犬の挨拶行動）	犬の特徴的な行動を読み解き、習性と学習の関係を理解する
3	犬学（様々な犬種の特性）	犬種の作出と歴史を学び行動変化を理解する
4	猫学	猫種の作出と歴史を学び行動変化を理解する
5	行動の発現と機序	動物の行動に対する動機付けや神経伝達物質、精神的な心理状態における親和行動と攻撃行動について理解する
6	発達ステージ（成長と学習）	発達ステージにおいて新生子期や移行期、社会期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する
7	発達ステージ（学習と行動の関連付け）	発達ステージにおいて若齢期や成熟期、高齢期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する
8	犬猫の維持行動	犬猫が維持行動として行う摂食・捕食行動、排泄や休息、グルーミング行動について理解する
9	犬猫の性行動	犬猫の性行動におけるプロセスやメカニズムについて理解する
10	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における馴化と感作を理解する
11	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における古典的条件づけ・オペラント条件づけを理解する
12	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する
13	問題行動（基本的な考え方）	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する

14	問題行動(予防を考えた犬との生活)	犬猫が起こす問題行動に対する修正と予防法を理解する
15	各論（トイレ・吠え・噛む）	犬猫で起こりうる問題行動についてまとめる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・動物看護学教育標準カリキュラム準拠専門分野　動物行動学　interzoo ・動物看護コアテキスト　動物の行動と健康管理　ファームプレス ・犬のしつけ学基礎と応用 interzoo	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬のしつけ学Ⅱ		ペット総合学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西　伴彦

授　業　の　概　要

今後トリマーとしての知識、技術の習得において重要な、動物の行動特に犬や猫の行動の基本を理解し、生活における問題となる行動の発現と、その行動の対処法、改善法、ひいては予防的な生活の提案ができる様々な事案を織り込みつつ講義をすすめ、いぬの扱い方のアドバイス、適正な飼養のアドバイスができる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学修する

授業終了時の到達目標

・動物の行動学、学習理論に対する専門的な知識と用語の理解を深め、総合的に動物の扱い方の基本を身につけて、今後のアドバイスに役立てる知識を持った人材
・犬や猫の基本的行動、本能的行動特性を理解し、飼い主に対して分かりやすくアドバイスできる人材の育成
・ペットショップやサロンにおける補助的動作訓練（ハズバンダリートレーニング）の理解を深め、実際の現場で役立つ知識の習得
・生活における犬や猫が起こす問題となる行動の対処法、改善方法や予防的生活提案のできる知識の習得と適切なアドバイスができる人材

実務経験有無	実務経験内容
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事

時間外に必要な学修

テキストの読み込み、講義でのノートの復習

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動物の問題行動に対する考え方	動物はなぜ問題行動を起こすのか、問題行動とはどのようなものなのかを学習する
2	犬種による問題点を考える	犬には多くの種類が存在し、それぞれの経緯について理解し、生得的な行動と問題点のつながり、生活における対処法を学修する
3	性質や性格による問題行動	動物の行動特性による問題点、性格による問題点をそれぞれ考え、行動と問題点の繋がり方を学修する
4	動物のストレスを考える	動物のストレスについての考え方、捉え方、個々の性格や行動特性の影響などを多角的に学修する
5	問題となる行動を記録する	問題となる行動はなぜ起こるのか、どのような環境で起こるのか、どのような状況で起こるのかなどを記録する方法とその考え方を学修する
6	目標を明確にしていくための教育方針と罰の概念	問題行動を対処するための犬への教育方針をどのように決めていくか、また罰についての考え方も学修する
7	問題行動予防のための方法１	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する
8	問題行動予防のための方法２	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する
9	問題行動トピック／トイレのしつけ方１	犬との生活の中で重要なトイレのしつけについて考え方、取り組み方、グッズの利用法などを学修する
１０	問題行動トピック／トイレのしつけ方２	犬との生活の中で重要なトイレのしつけの実際の方法をディスカッションを交えながら進め、対処法を学修する

１１	問題行動トピック／犬の吠える問題	犬が引き起こす問題の中で、吠える問題は多く寄せられる項目となるため、その考え方と対処法を学修する
１２	問題行動トピック／犬の噛む問題	犬が引き起こす問題の中で、噛む問題は生活に深刻な影響を及ぼすことから、その考え方と対処法を学修する
１３	問題行動トピック／その他	犬が引き起こす様々な問題点をディスカッションして、それぞれ出てきた問題点についての考え方と対処法を学修する。
１４	問題行動対策の総論	動物が引き起こす問題行動はどのようにして発現し、対応していけばいいのかを学修する
１５	問題行動対策の総論に対する議論	問題行動対策の改善に向けて前回までの講義を踏まえて、学生とディスカッションし、様々な事柄について学修する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新版　犬のしつけ学（インターズー）	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学		ペット総合学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	勝嶌　圭史

授　業　の　概　要

国際畜犬連盟（ＦＣＩ）により公認された344犬種のうち、一社法人ジャパンケネルクラブ(ＪＫＣ)が登録している約200犬種の全ての犬種に定められた繁殖指針とするための『犬種標準（スタンダード）』（各犬種の理想像を文章で書き表したもの）の概略を理解し、 FCIで定められている犬種やJKCで決められている犬種を理解することで、各種の犬の扱いを違いを体得する

到達目標

・JKCに登録されている犬種のスタンダード（原産地、沿革と用途、一般外貌、性格、サイズ、正しい歯の噛み合わせ、被毛と毛色、歩き方、そして頭部、頸、ボディ、尾、四肢等）を説明できる知識を修得する
・さまざまな犬種のスタンダードに基づいて、トリミングが出来る知識を修得する

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンを経営

時間外に必要な学修

犬種図鑑を読み、予習、復習をする

回	テ　ー　マ	内　　容
1	FCI・JKCとは何か 純犬種の理解	純犬種が登録されている国際団体FCIとそれを受けての国内団体JKCの関係について学ぶ
2	JKC分類10グループ別の基準	JKCが国際畜犬連盟（FCI)の分類に従い、犬の「系統」を重視したFCIが定める分類方式を採用し、10グループに分類している理由を理解する
3	10グループ別犬種（1～5グループ）について	1G.牧羊犬・牧畜犬、2G.使役犬、3G.テリア、4G.ダックスフンド、5G.スピッツのグループの飼育用途、犬質、特徴の理解する
4	10グループ別犬種（6～１０グループ）について	6G.嗅覚ハウンド、7G.ポインター、8G.鳥獣犬、9G.愛玩犬、10G.視覚ハウンドの飼育用途、犬質、特徴の理解する
5	骨格・歯・かみ合わせなど	骨格名称・歯数、歯の名称・かみ合わせの種類を理解する
6	グループ表作成(1G-3G)	1G-3G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する
7	グループ表作成(4G-6G)	4G-6G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する
8	グループ表作成(7G-10G)	7G-10G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する
9	グループ表作成(1G-10G)	1G-10G犬種表を修正・訂正して一覧表を作製する。併せて、特徴などの説明ができるように、グループでの説明演習をする
１０	血統証明書の見方、犬種標準（スタンダード）	実際のJKCスタンダードに沿って、各セクションに沿っての説明 純粋犬種の血統についても併せて考察する
１１	第1グループ犬種のスタンダード	１グループの代表犬種（ウエルッシュ・コーギー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１２	第2グループ犬種のスタンダード	２グループの代表犬種（ドーベルマン）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する

１３	第3グループ犬種のスタンダード	３グループの代表犬種（テリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１４	第４グループ犬種のスタンダード	４グループの代表犬種（ダックスフンド）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１５	第５グループ犬種のスタンダード	５グループの代表犬種（ポメラニアン）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１６	第６グループ犬種のスタンダード	６グループの代表犬種（ビーグル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１７	第７グループ犬種のスタンダード	７グループの代表犬種（ワイマラナー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１８	第８グループ犬種のスタンダード	８グループの代表犬種（ゴールデン・レトリーバー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する
１９	第９グループ犬種のスタンダード	９グループの代表犬種（プードル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する
２０	第９グループ犬種のスタンダード	９グループの代表犬種（マルチーズ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する
２１	第９グループ犬種のスタンダード	９グループの代表犬種（パピヨン、キャバリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する
２２	第１０グループ犬種のスタンダード	１０グループの代表犬種（ボルゾイ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する
２３	グループのまとめ・小テスト	1グループから10グループの代表犬種に関してまとめの小テストを行い、間違えた個所を自ら調べて書き直すことにより、理解する
２４	犬種図鑑作成①	1グループ・2グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする
２５	犬種図鑑作成②	３グループ・４グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする
２６	犬種図鑑作成③	５グループ・６グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする
２７	犬種図鑑作成④	７グループ・８グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする
２８	犬種図鑑作成⑤	９グループから犬種を選び、スタンダードを記入する 選んだ犬種を図解し説明できるようにする
２９	犬種図鑑作成⑥	１０グループから犬種を選び、スタンダードを記入する 選んだ犬種を図解し説明できるようにする 最終仕上げを行う
３０	オリジナル犬種図鑑完成　展示	オリジナルで作成した犬種図鑑を展示 デザイン・理解度を重視した作品となる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
コミュニケーション・マナー＆キャリアガイダンス（インターズー）	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
販売学		ペット総合学科／１年	2023／後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	勝嶌　圭史

授　業　の　概　要

ペットショップでの生体販売・フード、物販販売に関わる基礎知識（生体管理方法、しつけ、ペットフード、ペット用品の知識）に加え、販売に関わる業務の基礎知識（顧客への説明及び飼い方のアドバイス、適正な販売のための職業倫理と法律、ペットビジネストラブルの実例を知りトラブル予防）を学修する

授業終了時の到達目標

・犬の飼い方、管理方法を顧客に説明できるようになる
・フードの種類、原材料などを理解し、犬種猫種にあったフードを理解し、説明できるようにする
・フードやペット用品の仕入れ方を理解する
・ペットショップでの日常の管理業務、ペットショップのトラブル予防ができるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンを経営

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	販売学とは ペットショップでの仕事の内容	販売学とはどのようなことを学ぶのかを理解し、生体販売・物販・接客など、ペットショップで働くために必要な事は何か、求められる人材に関してを学修する
2	生体販売（子犬のしつけ）	子犬の社会化、トイレのマナー、噛むおもちゃ、ハウス、基本トレーニング、ペットショップで求められるしつけを学修する
3	ペットの販売の仕事と流れ①	ペット販売の意義と責任を学修する 管理、しつけについての注意事項を学修する
4	ペットの販売の仕事と流れ②	ペット販売の意義と責任を学修する 管理、しつけについての注意事項を学修する
5	フードメーカーによる説明①	ペットフードの分類（形状別、容器形態別、成長段階別）を学修する また、他メーカーとの違いを理解する
6	ペットの販売の仕事と流れ③ ペットフードの基礎知識①	管理や販売についての注意事項を学修する ペットフードの定義、分類（水分含有量別、目的食別、価格帯別）を学修する
7	ペットフードの基礎知識②	ペットフードの分類（形状別、容器形態別、成長段階別）を学修する
8	ペットフードの基礎知識③	ペットフードの分類（成長段階別）、表示（公正競争規約、表記の見方、不当表示の禁止）を学修する
9	ペットフードの基礎知識④ ペットビジネスのトラブル予防	ペットフードの表示（不当表示の禁止、処方食、栄養補助食品）を学修する ペットビジネスにまつわるトラブルを学修する
10	ペット用品・フードの仕入れに関する知識	ペット用品の仕入れ方、消費者が求める商品、流行りの商品を理解し、仕入れ方に関して学修する
11	フードメーカーによる説明②	ペットフードの分類（形状別、容器形態別、成長段階別）を学修する また、他メーカーとの違いを理解する
12	職業倫理と法律①（ペットの販売に関する職業倫理と法律）	ペットショップの責務、繁殖、販売時期、顧客の準備状況等と動愛法を学修する

13	職業倫理と法律②（ペットの販売に関する法律①）	動愛法（動物販売業者の責務、第一種動物取扱業の登録）を学修する
14	職業倫理と法律③（ペットの販売に関する法律②）	動愛法（第一種動物取扱業の登録)を学修する
15	職業倫理と法律④（ペットの販売に関する法律③）	動愛法（第一種動物取扱業の登録、犬猫等販売業者に関する基準）、獣医師法、狂犬病予防法を学修する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
学生サロンオペレーション		ペット総合学科／１年	2023／後期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	勝嶌　圭史

授　業　の　概　要

学生サロン「ヌクモ」での受付対応法を学習し、お客様の対応ができるようにする

授業終了時の到達目標

・サロンスタッフとして、接客対応法を理解し実践お通じて習得
・お客様の要望に合ったサービス、ペットの体を考慮したサービスの提案力の習得
・周りを見る力、瞬時の判断力、対応力など、ショップスタッフとして必要なスキルを体得する

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンを経営

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	接客の大切さについて 1年間で学ぶことについて	年間を通しての目標の共有と事前課題について、今年度の授業の流れを説明をし提案型サービスが出来るようになるという目標を共有する 掃除、時間の約束も大切さを理解する
2	接客をするうえで大切なこと 挨拶について	接客するうえで常に心掛けることを考え、理解する 気持ちの良い挨拶を学び、実践を行い、明るく元気な挨拶でお客様をお迎え出来るよう学習する
3	トリミングカルテの重要性 受付の流れについて（新規・既存のお客様）	トリミングカルテの重要性を理解する お客様の要望を聞き、ワンちゃんをお預かりするまでの流れを覚え、実践を行う
4	お返し対応の流れについて	お預かりしたワンちゃんのお返し、支払い、次回予約までの流れを覚え、実践を行う
5	確認テスト	多様なパターンを用意し、事前情報がない状態での理解度を確認する。苦手な点を明確にし、練習を行う 掃除、時間の約束も大切さを理解する
6	実践練習	確認テストで苦手なところ、出来なかったところを各自明確にし、実践練習を行うことで習得する
7	提案型接客について①	特殊なカット、皮膚に異常がある場合、毛玉やもつれがある場合、年齢などペットにあったサービスを提供できるよう学習する
8	提案型接客について②	お客様の希望と現在のペットの状況を比べながら受付を行う お客様の完成イメージはあるが、今回のトリミングでは完
9	怪我をさせてしまった場合、クレームが起きた場合について	怪我をさせてしまった場合の対応及び、お返し対応について学習し、起こしてしまった際に慌てずに対応出来るようにし、誠意をもって対応する 掃除、時間の約束も大切さを理解する
10	確認テスト	多様なパターンを用意し、事前情報がない状態での理解度を確認する 苦手な点を明確にし、練習を行う
11	実践練習	確認テストで苦手なところ、出来なかったところを各自明確にし、実践練習を行うことで習得する

12	お客様から信頼されるスタッフになるために①	これまで学習してきたことをもとに「信頼されるスタッフになるためにはどのようにしたらよいのか」考え、理解する（グループワーク）
13	接客以外に大切なこと①	掃除、時間の約束も大切さを理解する POP作成（分かりやすさ・デザイン性・目を引く）
14	接客以外に大切なこと②	2年次に行う実践練習の説明と実演、実践を行い習得する
15	確認テスト	掃除で気を付けるポイント、当番の流れなどを確認し、出来なかったところを再確認し理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
トリマーコース接客マニュアル	期末試験	100%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
キャットマイスターⅠ		ペット総合学科／１年	2023／後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	冨永　梨恵

授　業　の　概　要

・猫の歴史、生態、習性を理解し、猫という生き物を知る
・飼養するために必要な健康管理について、初めて猫を飼う飼い主様にアドバイスするために必要な知識、質問されやすい問題行動についてなどを学修する

授業終了時の到達目標

・ペットショップで扱われることの多いオーソドックスな猫種とその特徴を覚える
・身体のつくりなど猫の特徴、習性を理解する
・ZCC　キャットマイスターライセンス（ベーシック）取得（任意）

実務経験有無	実務経験内容
有	トリミングサロンでトリマーとして勤務

時間外に必要な学修

各項目の復習

回	テ　ー　マ	内　　容
1	猫の種類を知る	人気のある猫種、大型猫種、珍しい猫種について学修し、理解する 作出時期が新しい猫種に関しての特徴と協会での登録の有無を説明
2	猫の歴史 猫の本能	猫という生き物がどのようにして生まれたのか、世界における猫についてなど、猫の歴史を学修する 猫の本能である「生殖本能」「狩猟本能」「防衛本能」について学修する
3	発生スタイル 身体のつくり①	3つの発生スタイルを学修する 身体の部位、爪、顔、骨格について特徴を学修する
4	身体のつくり②	内臓（オス、メスの違い）、筋肉、肉球、歯、舌について特徴を学修する
5	身体のつくり③	目、目の色、耳、６つの体型について学修する
6	身体のつくり④	皮膚と被毛、毛の長さ別の猫種、毛色（ソリッド、マッカレルタビー、クラッシックタビー）について特徴と違いを学修する
7	身体のつくり⑤	毛色（スポッテッドタビー、アグーティータビー、３つのティップド）について特徴と違いを学修する
8	身体のつくり⑥	毛色（パーティ、ポイント）、猫種の作出についてを学修する
9	健康管理①	社会化期の重要性、個体観察能力（見てわかること、触ってわかること、世話をしてわかること）、BCSについてを学修する
10	健康管理②	成長プロセス、主な疾病、フード、加齢による変化について学修する
11	習性とボディーランゲージ	特徴的な習性、行動、体勢、身体の動きについて学修する。

12	猫の選び方と飼い方	購入先のメリット・デメリット、猫の選択とボディチェック、購入時の準備物、しつけとケアーについてを学修する
13	猫の問題行動①	トイレのしつけ、爪とぎ行動についてを学修する
14	猫の問題行動②	猫との良い関係の構築について（問題行動とその対処法を知る）、食事についてを学修する
15	総まとめ	これまでのまとめとして小テストを行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Text Book of Cat Meister（ZCC） プリント	期末試験	100.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
しつけ実習		ペット総合学科／1年	2023／後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	小西伴彦

授　業　の　概　要

犬のしつけの重要性の理解とともに実際に犬をトレーニングする技術を身につけるための理論を理解し、トレーニングのプランニング、顧客への接し方を含むアドバイス方法などを理解し、いぬを扱い、適正な飼養をアドバイスできる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学習し、顧客へのアドバイスができることを理解し習得する

授業終了時の到達目標

・行動学の理解として各専門用語の意味と活用方法を理解する
・犬の生得的な行動と習得的な行動の理解する
・犬の学習プロセスを系統的に理解する
・犬との生活の中で起こりうる問題点を探り、その根源を理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	犬の観察	行動・表情・メンタル等、チェックレポートに沿って犬を観察して記入する ※何頭か犬を準備しておく必要がある
3～4	犬の引き運動及び管理	基本的な引き運動の方法とサークルなどを利用した管理の方法を学ぶ
5～6	ケージの出し入れ	ケージから犬を出す時の注意点と犬をケージに戻す時の注意点、犬がケージの中にいる間の管理の方法を学ぶ
7～8	リードの扱い方及び カラー・ハーネスの装着・脱	カラーの種類及びハーネスの種類の説明、取り扱い方を学び、犬にリードをつけた扱い方を実践する ※カラー及びハーネスのリスク面の説明が重要
9～10	基本動作① （生活な必要な動作制御）	基本的な犬のコントロールを学ぶ ※オスワリやフセ
11～12	ボディコントロール （犬の健康チェック）	犬にストレスをかけることなく体全体をチェックする方法を学ぶことで、犬の健康管理の方法を知る
13～14	基本動作② （生活に重要な動作制御）	犬の安全を守るための基本的なコントロールを学ぶ ※マテやオイデ
15～16	犬の大きさ及び力の強さの違いを知る	犬種やその大きさの違いを知り、扱い方の注意点を学ぶことで、適切な犬の管理方法を考えて実践する
17～18	中間まとめ	今まで学んだことをまとめとして一連の流れを行う
19～20	洋服の着脱	犬に様々な種類の洋服を着せる際に、ストレスなどメンタル面に注意しながら着脱させる方法を学ぶ
21～22	基本動作①②の復習	基本的な動作の復習 オスワリとフセをスムーズに行うための方法を学び、安定したマテやオイデの動作を教えるためのポイントを学ぶ

23 ～ 24	アタッチメント練習	犬の体に装着されるカラーやハーネスなど様々なものをストレスをかけることなく適切に扱い、同時に犬のケアを行うポイントを理解する
25 ～ 26	基本動作①②の復習	基本的な動作の復習 オスワリとフセ、マテやオイデの動作を安定させるためのポイントを学ぶ
27 ～ 28	基本動作①②の復習	基本的な動作の復習 オスワリとフセ、マテやオイデの動作を安定させるためのポイントを繰り返すことで、実際に犬が覚えていくプロセスを学ぶ
29 ～ 30	総合的な学習	これまでに学習した内容を、実際に犬を扱いながら適切に管理すること、コントロールすることを改めて理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
犬のしつけ学(インターズー)	期末試験	100.0%	